

# 歯科

# 小児歯科

## 一緒に守ろう子どもの歯

子どもにとってはじめての歯医者さんは、子どもの口の健康を一生左右すると言っても過言ではありません。そのためには、子どもの口のことを良く知っている歯科医師に診てもらうことが大切です。



「歯」「歯ぐき」「口の中の違和感」など、子どもからの訴えや違和感はありませんか？

離乳の進め方に不安はありませんか？

子どもを虫歯にしないための歯磨きや食生活習慣についてお知りになりたいかたはいらっしゃいませんか？

### ～歯科医師のご紹介～

歯科主任部長

渡辺 幸嗣(わたなべ こうじ)

・日本小児歯科学会 小児歯科専門医・指導医

・日本障害者歯科学会 認定医



## 小児歯科診療で大切にしているポイント

**1 将来子どもを虫歯にしないための情報提供を行います。**

**2 子どもの口の発育を全面的にサポートします。**

離乳相談、虫歯の予防と治療、乳歯から永久歯へのスムーズな生え変わりのサポート等。

**3 発達障害の子どもに対しては、個々の状況に応じた歯科治療を検討します。**

ある程度意思疎通ができる子どもに対しては、視覚支援を用いながら構造化を行ったり行動療法を用いたりして、歯科治療に適応していただけるよう努めます。

**4 子どもの周術期口腔管理を行います。**

入院中・手術前後など体力や免疫力が低下している子どもにとって、口腔内の細菌は大敵であり、様々な全身感染症のリスクが高くなります。その全身感染症の予防のために、一人ひとりの口腔状態に合ったブラッシング・口腔粘膜ケア・口腔内の保湿などを行い、口腔環境を整えることを大切にしています。



小児歯科は単にお子様のむし歯を診るところではなく、子育て支援の場のひとつと考えています。お子様のお口の発育を適切に管理しながら、お子様を取り巻く養育環境にも関心を持って診療にあたっています。何かございましたらお気軽にご相談ください。



## 教えて渡辺先生！

- Q. 銀歯をいれました。体に悪い影響はないですか？**
- A.** ほとんどありません。ただし、ごく稀に金属アレルギーがおこることがあります。小さな虫歯の治療であれば金属を使わずに詰め物をするのですが、大きなむし歯の治療をした場合には金属の被せ物を使用することが必要です。個々のケースでご相談に応じます。
- Q. 保育園や幼稚園の歯科検診で何も指摘されなければ安心していいですか？**
- A.** 幼稚園や保育園の歯科検診は、集団でのスクリーニング検査です。多くの子どもを対象に、短時間に可能な方法で、親や子どもが気付いていないむし歯や歯並びなどを識別することが目的です。治療が滞っているむし歯などの治療を促すことも目的です。実施回数も1度か2度なので、成長が著しい個々の子どもにあった歯磨き指導など健康づくりの面からも、適切な環境下での診査や確実な診断が可能な歯科での定期健診も併せて受けると良いでしょう。小児歯科専門の医療機関であれば、子どもの成長にあったより細やかな健診を受けられます。また、保護者の皆様から、子育ての悩みなどがありましたら歯科に関係ないと思われるようなことでもお気軽にご相談ください。場合によっては専門家をご紹介します。

## 公益社団法人日本小児歯科学会認定



## 小児歯科専門医とは

子どもの歯・軟組織（歯肉や舌など）・かみ合わせ・顎関節などの顎顔面口腔全体の良好な機能と形態の育成につながる高度な小児歯科に関する専門的知識ならびに治療技術を有する、公益社団法人日本小児歯科学会の認定を受けた歯科医師です。